

組立コンベアラインの投入順序計画を最適化 AI で素早く立案 組立製造業向け特化パッケージ 「Asprova Auto Assembly」を3月25日提供開始 ～”チョコ停”防止と安定生産の実現～

生産計画の悩みを解決する生産スケジューラ「Asprova」の開発、販売を行うアスプローバ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：田中 智宏、以下：弊社）は、組立ラインの生産性を向上させる AI ソリューション「Asprova Auto Assembly」を2025年3月25日に提供開始します。本製品は、AIを活用して工場の生産計画を最適化し、短時間のラインストップ（チョコ停）を防ぐことで、効率的な生産を実現します。特に、自動車・家電・建設機械業界の組立ラインに適しており、製造業のDX推進に貢献します。



「Asprova Auto Assembly」: <https://www.asprova.jp/products/package/assembly>

製品をベルトコンベア上で組み立てるライン生産方式において、効率化と安定的な生産を実現するためには、ライン方向と時間方向に負荷を平準化することが求められます。生産計画の段階で平準化を考慮しておくことで、効率的な生産を進めるとともに、ラインストップの防止が可能になります。反対に、仕様の異なる製品を組立ラインに流すので、投入順序や作業配分が適切でないと、部品供給や作業者の負担が過度になり、ラインストップや生産効率の低下を招いてしまいます。このような事態は、単に生産量の減少を引き起こすだけでなく、企業全体に多方面にわたる悪影響を及ぼし、最終的には売上や利益の減少に繋がることとなります。

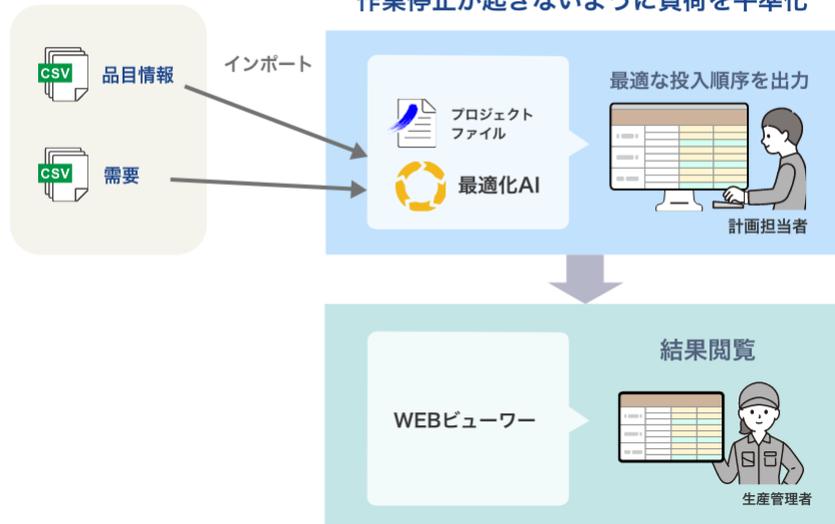
ところが、適切な投入順序や作業配分を決めるのは簡単ではありません。担当者のノウハウに依存してしまうため、属人化のリスクもあります。弊社では、これまで培ってきた生産スケジューラのノウハウから、これらの特有の計画要件に対応できる有効な機能を凝縮し、業種特化型のAI搭載スケジューラの開発に至りました。

「Asprova Auto Assembly」は、弊社独自に開発した生産計画立案用の最適化AIを利用し、100万通り以上の計画案から、最も生産効率が高くなるような投入順序計画を自動で算出します。具体例としては、部品やサブユニットの供給タイミング、各作業区の所要時間、ラインエンドの置き場を最適化するために、製品の仕様が偏らないような投入順序を算出することができます。これにより、以下のようなことが実現でき、工場の生産能力の最大化に繋がることが期待できます。

- 短時間のラインストップ（チョコ停）の防止
- 安定した生産の実現
- 生産計画者の負担軽減
- 属人化の解消
- 需要変動への柔軟な対応

また、「Asprova Auto Assembly」は、組立コンベアラインにフォーカスされたパッケージ製品のため、短期間で導入できることも魅力の一つです。

製品が持つ複数の特性を事前に登録し
それらの間隔や連続を指定することで
作業停止が起きないように負荷を平準化



- 提供開始日 2025年3月25日
- 提供価格 お問い合わせください

弊社は、今後も生産性向上を支援する革新的なソリューションを提供し、製造業の生産計画業務の効率化を推進してまいります。

■ 生産スケジューラ「Asprova」について

Asprova は、1994年にアスプローバ社が開発した生産スケジューラです。多品種多工程の生産計画を超高速に作成し、工場の各設備や人員のスケジュールを秒単位の精度で作成し、実行可能な作業指示を計算してガントチャートで出力します。発売以来、国内外の幅広い製造業で採用され、順調に導入・利用社数を拡大しています。今後も生産スケジューリングのデジタルイノベーションを支えるプラットフォームとして、機能とサービスの拡充を図ってまいります。

(<https://www.asprova.jp/products/overview.html>)

【アスプローバ株式会社について】

国内トップブランドの生産スケジューラ「Asprova」のソフトウェア開発を通じ、計画立案業務の分野で製造DXの実現に貢献しています。

【会社概要】

会社名	アスプローバ株式会社
代表者	代表取締役社長 田中 智宏
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-9-2 KDX 五反田ビル 3F
設立	1994年2月
資本金	2,000万円
事業内容	SCM / 生産スケジューリングシステム“Asprova”の研究・開発・販売およびシステムインテグレーション・システムコンサルティング
ホームページ	https://www.asprova.jp/

* 本プレスリリースに記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

* 本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。